

科目名	ビジネススキル 2							年度	2026
英語科目名	Business Skills 2							学期	後期
学科・学年	放送芸術科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	外部担当者	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
<b>【科目の目的】</b> 将来の自分を見据えて就職活動に関わる知識やスキル（検定試験、資格取得）を習得することを目指し、情報収集、能力アップを目的とする。									
<b>【科目の概要】</b> 就職など進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。 （開講期間未定、内容に関して開講時に決定）									
<b>【到達目標】</b> 就職活動に関わる知識やスキル（検定試験、検定資格）の習得や情報収集の方法、能力のアップを目指す。									
<b>【授業の注意点】</b> 社会へ出てからは最低限のルールだからです。授業中の私語、携帯端末等の使用も禁止します。特に私語は講義の進行妨害、他の生徒が講義を受けることへの妨害行為となることから厳禁です。専門学校は専門知識や技術の習得だけを目的とするものではありません。学生から社会人への移行の場でもあります。社会人としてのマナーや心構えも身につけてください。ただし、授業時数の4分の3以上の出席が必要です。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	就職活動への取り組みに意欲があり積極的に行動している。		就職活動への取り組みに意欲はあるが、それほど積極的に行動していない。				就職活動への取り組みに意欲がなく、全く行動していない。		
到達目標 B	検定試験や資格取得に積極的に取り組んでいて、良い結果を得ている。		検定試験や資格取得に積極的に取り組んでいるが、不本意な結果である。				検定試験や資格取得に全く取り組んでいない。		
到達目標 C	情報収集に対して、PCスキルが上がった。		情報収集に対して、PCスキルが少し上がった。				情報収集に対して、PCスキルが全く上がらなかった。		
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネススキル2			年度	2026
英語表記		Business Skills 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ビジネススキル	就職活動や社会人基礎力のアップ	1 就職活動	情報収集能力向上	3	
			2 資格取得	スキルアップや就職意欲の向上		
			3 PCスキル	就職活動対策		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった  
備考 等